

平成 30 年 11 月 12 日

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会
会長 真境名 勉
地域保健理事 米須 敦子
(公印省略)

糖尿病と歯周病に関する研修会のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。
さて、本会では、沖縄県委託「平成30年度かかりつけ歯科医推進事業」の一つとして、標記に関する研修会を下記の通り開催することとなりました。

今回は、歯科と医科の両医師にそれぞれの立場から糖尿病と歯周病の深い関連性や糖尿病治療に関する医科歯科連携について、ご講演していただきます。

つきましては、沖縄県歯科医師会事務局へ平成30年12月4日(火)までにFAX(098-996-3562)にてお申込み下さいますようお願い致します。

記

日 時：平成30年12月9日(日) 午前10時～正午

場 所：沖縄県口腔保健医療センター 2階 大研修室

対 象 者：歯科医師・歯科衛生士・医師・保健師・行政関係者・その他医療関係者

参 加 費：無料

演 題：『糖尿病患者の医療連携に生かせる知識と取り組み』

講 師：日本歯科大学附属病院 総合診療科 准教授 小川智久先生

演 題：『糖尿病の医科歯科連携を考える』

講 師：医療法人かねや 屋宜内科医院 院長 屋宜 宣治先生

講演内容：裏面

糖尿病と歯周病に関する研修会申込書 [H30.12/9]

平成 年 月 日

医院名・所属	申込者名	職 種

沖縄県歯科医師会事務局 FAX (098-996-3562)

※連絡先

TEL (_____) FAX (_____)

【講演内容】

糖尿病患者の医療連携に生かせる知識と取り組み

日本歯科大学附属病院 総合診療科
准教授 小川智久

2年前の平成28年11月の講演では、「歯周病と糖尿病の関係」について様々な方向性から解説しました。今回は上記タイトルにあるように、糖尿病における医療連携を円滑かつ確実にこなえることを目的として講演します。

まず、医療連携を円滑におこなうには、糖尿病患者に関係する医師、歯科医師、各医療職はそれぞれの立場における考え方や専門性があり、お互いがそれらを理解する必要があります。そこで今回の講演では、歯周病専門医という歯科医師の立場から、まずは歯科における最新の糖尿病に関する報告やこれまでの研究結果、臨床例などについて講演します。

糖尿病も歯周病も生活習慣病であり、患者の特徴も酷似しているように思われ、それ故、治療においても病気に理解のある患者は治療効果が高いです。そこで、多職種連携により治療中断することなく、良好な状態が長期的に維持安定することが望まれています。この糖尿病医療連携は様々な試みがあり、それを紹介するとともに我々が考案中のシステムについても言及する予定であります。

糖尿病の医科歯科連携を考える

医療法人かねや 屋宜内科医院
院長 屋宜 宣治

高齢化社会や医療の進歩により、医科歯科連携の必要性は高まっている。保険診療においては、平成26年に歯科医療機関連携加算が新設され、在宅療養支援診療所や在宅療養支援を行う上で、白血病を含むがん治療や心臓血管外科、整形外科疾患を加療する医療機関での必要性は明確となった。

また、一般の診療科においては、歯周病と糖尿病や口腔内疾患と誤嚥性肺炎の関連から、診療所間での医科歯科連携の必要性は高まっているが、その連携は必ずしもうまくいっているとは言えない。当院では、糖尿病治療中の患者様に歯周疾患関連のアンケートを行い、異常を疑う患者様へ歯科受診の案内を行った。その際の経験から、スムーズな医科と歯科の連携に必要と思われることを考えてみた。